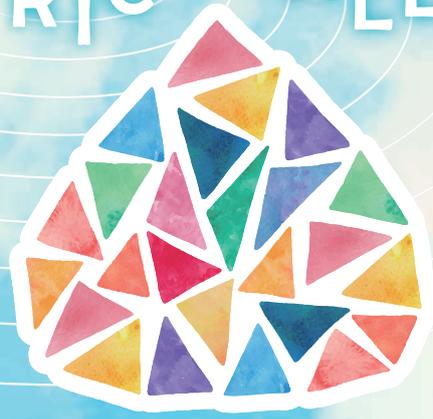


RICEBALL



SEMINAR

## ライスボールセミナー

【日時】6月毎週火曜日 / 12:20-12:50

【会場】創思館1階カンファレンスルーム

参加費無料・おにぎり付

多数ご参加いただいた場合、おにぎりの品切れ、および  
入場制限が発生する場合がございます。あらかじめご了承ください。

2018. 6

vol.7  
6/5  
tue.

## 共謀罪って何？ — その成立経緯と問題点

【講師】 市川 啓 (衣笠総合研究機構 専門研究員) 【受入教員】 安達 光治 (法学部 教授)

vol.8  
6/12  
tue.

## パンと仕事 — 独裁国家エジプトの社会保障

【講師】 河村 有介 (衣笠総合研究機構 プロジェクト研究員) 【受入教員】 末近 浩太 (国際関係学部 教授)

vol.9  
6/19  
tue.

## トランスジェンダーの暗がり — 忘れてはいけないこと

【講師】 吉野 靱 (衣笠総合研究機構 専門研究員) 【受入教員】 立岩 真也 (先端総合学術研究科 教授)

vol.10  
6/26  
tue.

## 宗教で読み解く現代エジプト — 「穏健派」イスラームのゆくえ

【講師】 黒田 彩加 (衣笠総合研究機構 プロジェクト研究員) 【受入教員】 末近 浩太 (国際関係学部 教授)

“大学ではどんな研究が行われているのだろうか？”と思ったことはありませんか？

ライスボールセミナーは、お昼の休み時間におにぎりを食べながら、若手研究者による研究発表を聞いて、自由にディスカッションを楽しむセミナーです。学生でも教職員でも、どなたでも気軽に参加していただけます。お昼のちょっとした空き時間に、是非のぞいてみてください。お茶やおにぎりをご用意してお待ちしています！

## 講師紹介

市川 啓 (衣笠総合研究機構 専門研究員)

共謀罪って何？ —その成立経緯と問題点



- 専門分野 刑法学
- 研究者の道に進んだきっかけ 家族や本の影響で法学に元々興味・関心はありましたが、安達光治先生の刑法総論や松宮孝明先生の専門演習で刑法学の魅力に触れたのがきっかけです。とりわけ、刑法上の諸概念の本来の意味を示したり、社会的視座を通じた合理的な文言解釈を示したりすることで、判例・通説を批判し、ときに無罪判決に貢献する先生方の姿に憧れたのだと思います。
- 研究内容紹介 大学院では、子供や責任無能力者、強制下にある人間などを利用して犯罪を実行する者＝間接正犯という概念がどのように生まれ、そして正犯・共犯論の発展にどのような影響を与えたのか、歴史的に研究してきました。現在は、我が国のテロ等準備罪の謙抑的な解釈・運用に資する解釈指針を探究するため、ドイツの重罪合意罪・結社罪（およびテロ結社罪）の研究を安達光治先生の下で取り組んでいます。とくに、これまでの歴史研究を活かして、19世紀ドイツにおける謀議罪について調べている最中です。

河村 有介 (衣笠総合研究機構 プロジェクト研究員)

パンと仕事 —独裁国家エジプトの社会保障



- 専門分野 比較政治学・現代中東政治研究
- 研究者の道に進んだきっかけ 大学に進学したのがアメリカ同時多発テロ（2001年）直後で、当時書店に溢れていた中東関連の書籍を少し読んでみようとしたことが、中東政治の面白さを知るきっかけでした。
- 研究内容紹介 一般的に「社会保障」という語からイメージするのは、基本的な人権の一つである生存権を保障する具体的な政策だということだと思います。しかし、独裁国家と呼ばれるような、人々の自由が制限され、基本的な人権が十分に保護されていない国々にも社会保障は存在しています。2011年に一度は崩壊したものの、現在でも独裁政権が続いているエジプトを例にとり、独裁国家における社会保障の機能についてお話しします。

吉野 鞞 (衣笠総合研究機構 専門研究員)

トランスジェンダーの暗がり —忘れてはいけないこと



- 専門分野 ジェンダー論
- 研究者の道に進んだきっかけ 成り行きではありますが。私はトランスジェンダー（生まれたとき割り振られた性別とは違う性別で生きたい／生きているひと）ですが、身体変更の手術が失敗して医療訴訟をしました。研究成果をあげることで裁判と生活を維持する必要がありました。
- 研究内容紹介 「LGBT」などの語が明るくクローズアップされていますが、トランスジェンダー（または性同一性障害と診断されたひと）の状況はハッピーではありません。例えば、戸籍上の性別を変えるためには断種と生殖器形成手術が課せられていますが、それに見合う医療の受け皿はないのです。これまでの研究では「性同一性障害」という診断が生んだもの、制度・医療の問題点を指摘してきました。今回はトランスジェンダーの基礎知識、法律や医療の課題、日本では余り見かけない「トランスの表現」を少しご紹介します。

黒田 彩加 (衣笠総合研究機構 プロジェクト研究員) 宗教で読み解く現代エジプト —「穏健派」イスラームのゆくえ



- 専門分野 中東地域研究、イスラーム政治思想研究
- 研究者の道に進んだきっかけ 9.11 同時多発テロをはじめ、2000年代の中東の混乱を目の当たりにする中で、なぜ中東では争いが絶えないのか疑問を持ち、研究を通じて地域の成り立ちを知りたいと思うようになりました。
- 研究内容紹介 イスラームという宗教は、現代の国際社会をゆるがす大きな軸のひとつとなっています。過激派の活動ばかりが目立がちですが、大多数を占める「普通」のイスラーム教徒がどんな生活を送っているのか、彼らの生活にとって宗教がどんな意味を持っているのか、その実態はあまり知られていません。今回は、独裁政権が長く続いたアラブの大国・エジプトに注目し、イスラームの教えに根ざした穏健な社会・政治運動が、時代の変動の中でどのように発展してきたかを紹介します。

【会場】 立命館大学衣笠キャンパス 創思館1階 カンファレンスルーム

【日時】 6月 毎週火曜日 12:20▶12:50

【主催】 衣笠総合研究機構、立命館グローバル・イノベーション研究機構 (R-GIRO)、立命館大学リサーチライフサポート室

【お問合せ】 衣笠リサーチオフィス TEL: 075-465-8224 / FAX: 075-465-8342



ライスボールセミナー、Facebookページも CHECK!  
<https://www.facebook.com/riceballseminar>

